

三角 武久 狛江市議会議長のあいさつ

皆様、こんにちは。紹介いただきました市議会副議長の西村あつ子でございます。

本来ならば三角武久議長が参りまして、ご挨拶すべきところですが、あいにく他の公務が入っておりますため、私、西村あつ子が代理で参りました。

議長より、皆様へのご挨拶を預かっておりますので、ここで私より代読をさせていただきます。



皆様、狛江市議会議長の三角武久でございます。本日は他の公務のために出席することが叶わず、誠に申し訳ございません。

今年も、実行委員会及び関係者の皆様の熱意あふれるご努力により、「こまえ平和フェスタ2025」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

今年のテーマは、「えがおひろがれ！ いのちかがやけ！ ～ 核兵器も戦争もない未来を子どもたちに～」です。

現代の世界には、いまだに苦しみや悲しい現実が多く残されています。ウクライナではロシアによる軍事侵攻が続き、イスラエルとパレスチナなど、中東においても人々の命を脅かす対立が絶えません。

また、戦争や紛争などにより、罪なき人々、特に子どもたちが、その被害を大きく受けています。

こうした現実を前にすると、私たちは改めて思い知らされます。

何よりも大切なものは、互いを思いやり、尊重し合う「人と人とのつながり」です。私たちが暮らす今日の日本の平和と繁栄は、多くの尊い犠牲のもとに築かれたものであります。まずは、これを決して忘れないこと。そして、世界中のすべての人々が、人と人とのつながりを大切にして、平和に生きていける世の中を願い、そのために自分たちにできることからやっていくこと、これがとても大切なのではないかと感じております。

今年の「こまえ平和フェスタ2025」は、戦後80年、そして第20回の節目の開催となります。今年は、日本被団協初代理事長をお父様に持たれます、森瀧春子（もりたきはるこ）様による貴重な講演や、朗読劇、展示企画など、多くのプログラムが企画されており、平和を願う心の輪を広げる機会になることを期待しています。

また、このような場から未来を担う子どもたちが「平和を語り継ぐこと」と「つながりを大切にすること」の意味を学び、次世代に伝えていく力となることを信じています。

昭和57年6月21日に「狛江市平和都市宣言」をしており、狛江市議会といたしましても、その精神を尊重し、平和で安全なまちづくりのために引き続き最大限の努力をしていきます。

結びに、「こまえ平和フェスタ2025」の成功と、本日お集まりの皆様方のご健勝をご祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

令和7年8月31日 狛江市議会議長三角武久 以上でございます。

今年は戦後80年となり、戦争を経験されてきた方が年々少なくなる中で、こうした地域での平和の取組みは、とても重要だと思います。今回のテーマにあります「核兵器も戦争もない未来」、私もこの思いを皆様と共有しながら今日は最後まで観賞させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。